

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいし未来づくりプロジェクト事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	総合政策課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8413
施策②	地域活動の場の充実とまちづくり団体の連携	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和7年度		
事業の概要			
第六次釜石市総合計画の進捗管理を行うとともに、計画を円滑に推進するため、まちについてともに考え、ともに活動することを目的として「かまいし未来づくりプロジェクト」を開催し、市民目線で事業の検討を行う。また、当市の発展を支える人材の育成を目的として、プロジェクトメンバーと市内小中高校生との地域活性化に資する意見交換を実施する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
ライフスタイルの変化に伴い住民ニーズが多様化・複層化している中で、求められる住民ニーズを的確に捉えるには、広く住民の意見を集める必要がある。また、人口減少・少子高齢化により、地域の担い手不足が生じており、将来に向けて持続可能な地域づくりを進めていくことが難しい状況となっている。	
目的	
人口減少・少子高齢化が進む中、持続可能なまちづくりを推進するため、住民のニーズを的確に捉えつつ、市と住民が協働し「ともに考え・ともに活動する」環境の構築を目指すとともに、第六次総合計画の効率的・効果的な進捗管理を行うもの。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズを的確に捉えるため、アンケート及び decidim システム等を活用し広く意見を集約する。 かまいし未来づくりプロジェクトとの協働の中で、地域課題解決に向け、住民が担う役割の検討及び実施する。 「市の未来を考える取組」の一環として、「かまいし未来づくりプロジェクトメンバー」「釜石高校 SSH」及び「かまいし絆会議」による、未来に向けた具体的な取組の検討及び実施する。 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
1,469 千円	1,469 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
「かまいし未来づくりプロジェクト」には、行政、企業、職能団体、NPO、市民団体等が参加し、多角的な角度からまちづくりを考える場となっている。また、プロジェクトのメンバーと市内小中高生が意見交換をする場を設けることで、次代を担う世代がまちづくりに参画できる仕組みが取られている。各世代ごとに市民の取り組みをいかに促していくかや Decidim の有効活用・他手段の検討を含め、再度議論されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	集会所維持管理費		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	生活環境課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8451
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和7年度		
事業の概要			
上平田ニュータウン集会所は平成6年に供用開始され、経年劣化が進んでいることから、施設の長寿命化を図り安全・安心な地域の活動拠点とするため、建物の外部（外壁・屋根）塗装を行うもの。集会所の利用状況の調査を行い、改修工事の必要性等について検討したことから、引き続き、劣化の進行等についても確認していく。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>上平田ニュータウン集会所は、施設面積約326㎡、管理運営は上平田ニュータウン町内会が行っている。年間延べ7,000人程の地域住民等が利用し、投票所（平田第1・2地割）としても利用されており、上平田地区の拠点となる重要な施設である。</p> <p>しかしながら、当該施設は平成6年に供用開始され29年が経過しており、経年劣化により建物の腐食が懸念されており、地域活動を行うための安全性が確保されていない。</p>	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・建物の長寿命化 ・安心、安全に集会所を利用できる。 ・主体性を持ち地域活動が活発な町内会を、次世代に承継していく。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>外部（外壁・屋根）の塗装</p> <p>※軽微な修繕を検討したが、当該集会所は屋根が高く複雑な形状をしており、足場を組まない方法での修繕は出来ない状況である。コーキングが完全にはがれた箇所も確認でき、このまま放置すると大規模な修繕を行わなければならないことも考えられることから、足場を組んだうえで、コーキング処理を行い再塗装を行う改修を実施するもの。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
0千円	3,922千円	0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
雨漏りや塗装がはがれることによる影響を確認しながら事業実施するよう努められたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	みんなで創る地域会議事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	まちづくり課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	27-8454
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	平成20年度～令和8年度		
事業の概要			
市民一人ひとりが主体的に地域づくりに関わり、地域の身近な課題の解決及び特色を生かした魅力ある地域づくりのために地域会議が行う事業に対し交付金を支出するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
人口減少や少子高齢化に伴い、町内会会員の高齢化や地域活動の担い手不足が顕在化しており、人材・財源の不足等により町内会単位では以前のような快適な生活環境の維持が困難。	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・人と人、地域と人、地域と地域のつながりや活力が感じられるコミュニティの構築。 ・地域に根付く郷土芸能や地域行事等の継承を通して、地域に生きる子どもを含めた地域を担う後継者の育成。 ・住民自治の推進、まちづくり意識の高揚 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで創る地域会議交付金」の交付。 ・地域活動の助言、支援。 ・把握した地域課題への対応方針や協議を目的とした「地域会議」の開催 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
5,620 千円	5,620 千円	5,620 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
本事業は地域住民が身近な地域課題の解決や地域のまちづくり意識の向上につながるため、継続実施が望ましい。ただし各種交付金、補助金の金額や用途等については、効率性や有効性を見直しが必要のため検討されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	集会所改修工事		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	生活環境課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8451
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
市内に48カ所整備されている市立集会所は、地域の活動拠点として広く地域住民等に利用されているが、段差等により高齢者や車いす使用者の利用が難しい施設が複数あることから、日向・新川原集会所のバリアフリー化を進め、利用環境の向上を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
震災以前に整備された集会所は、施設内に段差が多く手すり等もないことから、高齢者や車いす使用者の利用に不便が生じている。日向・新川原集会所は、汲取り式の和式便器が設置されていることに加え、トイレと廊下に段差があるため、高齢者等の利用に支障が生じている。また、荒川集会所は、集会施設と体育館をつなぐ渡り廊下に高い段差があるため高齢者の利用が難しい状態にある。
目的
誰もが利用しやすい施設となり、高齢者等の利用が促進され元気な地域づくりが行われるとともに、広く世代間交流が図られ、主体性をもった持続可能な町内会の運営が行われる。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>■日向・新川原集会所 ①排水設備の整備（下水道法第10条）及びトイレ水洗化（下水道法第11条の3）、②和式便座を洋式便座に改修するとともに、廊下とトイレの段差を解消しバリアフリー化を図る。</p> <p>■荒川集会所 ①集会所と体育館渡り廊下のバリアフリー化、②体育館床のバリアフリー化</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
11,264 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
日向・新川原集会所については、利用者が多いことや水洗便所の改造義務等は法で定められている事項であるため、計画通り進めるよう努められたい。 荒川集会所については、集会所全体の存続の優先順位付けを行った上で検討した方がよいと判断されるため、再検討とする。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	上小川・中小川集会所建設事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	生活環境課
施策①	みんなが参画できるまちづくりの推進	電話番号	0193-27-8451
施策②	地域活動の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和6年度		
事業の概要			
上小川地区集会所施設及び市立中小川集会所は、どちらも昭和50年代に建設されたもので老朽化が進行している。老朽化した集会所を解消するとともに、今後見込まれる高齢化や人口減少を考慮し持続可能な町内会運営を行うため、両町内会の拠点となる集会所施設を新築しようとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
上小川地区集会所施設及び市立中小川集会所は、老朽化が進んでおり、特に上小川地区集会所施設は建物が傾いており傷みが激しい。また、中小川集会所は、令和2年に県が示した「日向ダム下流（小川川）の洪水浸水想定」により、最大想定規模（千年に一度）の降雨で3～5m、計画規模（百年に一度）の降雨で0.5～3mの浸水が想定されており、地域活動を行うための安全性が確保されていない。	
目的	
地域活動の活性化をはかり、主体性をもった持続可能な町内会の運営が行われる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 上小川・中小川町内会が合同で利用する市立集会所の整備 集会所で活用する備品の整備 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
194,558 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
本事業により地域や世代間の交流の活性化が図られることから目的妥当性、有効性、効率性について適切だと判断した。 中小川集会所の解体工事については、地権者と協議をして検討すること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	結婚支援事業		
政策	計画の推進/全市民参加でつくるまち	担当課	総合政策課
施策①	地域のアイデンティティ形成	電話番号	0193-27-8463
施策②	地域内外の交流の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>独身男女の出会いを支援する会員登録制のマッチング・お見合い事業や普及啓発事業を行う”いきいき岩手”結婚サポートセンターの運営経費の一部を負担する。</p> <p>また、20代、30代の新婚世帯の経済的負担を軽減するため、新居の賃借費用や引越費用等を支援する補助金を交付する。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<p>2016年釜石市民意識調査における結婚に関する意識調査では、結婚していない理由の上位に「適当な相手にめぐり合っていない」「結婚後の生活資金不足」「結婚資金が足りない」が挙げられており、行政へ希望する結婚支援として「住宅支援（家賃補助）」が半数、「経済支援」が3割強を占めている。これらの背景により、住宅支援や経済支援を含め、結婚を希望する若い世代の多面的サポートが重要であり、課題となっている。</p>
目的
<p>第2期オープンシティ戦略におけるプロジェクト「ライフステージに応じた少子化対策・子育て支援」と人口減少対策の具現化として、出会い・結婚・出産・子育ての各ステージに応じた切れ目のない支援策や現代のライフスタイルに沿った取組みを行い、結婚は個人の自由意志であることを尊重しつつ、結婚の希望を叶えることで、社会減の回復と自然増の一助とする。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>①独身男女の出会いの場の創出：大槌町、釜石市青年会議所と連携し、若者定着事業実行委員会を組織し、男女の出会いの場となるマッチングイベントを企画、実施する。</p> <p>②新婚世帯への経済的支援：新規に婚姻した若者世帯に対し、住宅の購入、賃貸借、及び引越費用の実費負担に対して補助金を交付する。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
4,855 千円	4,955 千円	4,955 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>出会いの場が少ないという課題から、若者定着事業実行委員会が婚活イベントを行っているものの、ニーズとの乖離が見られ、開催が難しくなっていることからニーズを意識したイベントの開催をされたい。</p> <p>ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うため、結婚支援補助金を活用した人が妊娠・出産・子育てにつながられるよう、健康推進課、子ども課との連携を強化されたい。</p>			